

選抜野球チーム 県予選大会に出場

9社14名の選手により構成する野球選抜チームは、今年、天皇賜杯第47回全日本軟式野球（5月）と第37回中部日本都市対抗軟式野球（8月）の2つの金沢ブロック予選に出場。天皇賜杯は1回戦で敗退したが、中部日本では予選を勝ち抜き、金沢ブロック第一代表として石川県予選大会（9月、七尾城山野球場）に出場、1回戦は七尾市役所に5対1で勝ったものの、準決勝では福島印刷(株)に1対3で惜敗した。

- 監督 広瀬与志雄 (丸与商事(株))
- コーチ 岸 励 (株) タムラ
- 〃 金谷 正人 (石 織 (株))
- 主将 平野 渉 (丸与商事(株))
- 選手 丸川 正弘 (小 川 (株))
- 〃 渋谷 信孝 (株) 堀川商店
- 〃 大谷 哲夫 (小 川 (株))
- 〃 吉川 康成 (富木医療器(株))
- 〃 高下 英之 (丸与商事(株))
- 〃 山本 睦 (小 川 (株))
- 〃 高瀬 徹 (三和通商(株))
- 〃 小島 憲一 (北村電機産業(株))
- 〃 西田 良裕 (大 宗 (株))
- 〃 上 裕一 (富木医療器(株))

繊維同業会結成25周年記念 菊花展開催

金沢問屋センター繊維同業会（八田隆年会長）恒例の菊花展は10月7、8日、会員商社の店舗を会場に開催された。

今回は同会結成25周年ということで記念講演会が行われ、(株)船井総合研究所のトップ経営コンサルタント浦尾省吾氏を講師に迎え、「新しいスタイルの衣料店経営「不況時代における販売戦略」という演題で、120名あまりが熱心に聴講した。



金問屋センターニュース

1992.11 No. 54

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎37-8585 ●発行者/小川甚次郎



団地完成25周年を迎えて

協金沢問屋センター
理事長 小川 甚次郎

去る10月15日に举行了した団地完成25周年記念式典は、組合員各位のご協力により、無事終了致しました。厚く御礼申し上げます。

顧みますと、私共が昭和38年10月に120企業が参加して協同組合金沢問屋センターを設立し、経営の合理化、店舗用地の拡大、労働力の確保、共同事業の推進、交通難の打開を目的に検討を進め、金沢駅西地区に新しい土地を求めて集団移転することを決定致しました。その後、国、県、市、商工会議所、金融機関の絶大なご支援と地元農業関係者のご協力により、83,000坪の土地を買収造成し、40年4月より店舗建設に着手、幾多の苦難を乗り越えて42年10月14日に101社で完成式を挙げる事が出来ました。爾来、順調に毎年新しい企業が加入し、その後団地の拡張も行い、現在140社が営業中であります。今ここに完成25周年を迎えるにあたり、組合員一同が苦難の道を歩んで来たことを思い浮かべ、感慨ひとしおのものがああります。

さて、私共は現在まことに厳しい社会経済情勢の下にあります。近年中小卸売業を取りまく、経済環境はライフスタイルの変化に伴う消費ニーズの多様化、メーカー・大手小売業等による卸の系列化、選別化、小口多頻度納入等による物流コストの増大等ますます厳しいものがあります。

一方、団地自体も用地の狭隘化、施設の老朽化等、開設時とは大きな様替りを見せております。この流通変革の流れの中であって地域流通の要として、ハード、ソフト面でこれらの問題点を解決するため、心を新たに集団化当時の原点にかえり、組合員一同、一致団結して一層の努力を傾注しなければならないと痛感する次第であります。問屋団地の明日の発展に向かって、組合員各位の尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第46回北國文化賞受賞



小川(株) 会長 小川 甚次郎 氏

当組合理事長など多くの公職を努め、地域経済の発展に寄与し、加賀友禅を金沢を代表する伝統産業に育て上げた。

完成25周年式典

協金沢問屋センター完成25周年記念式典は10月15日(木)、金沢流通会館大ホール・パルスにおいて、多数の来賓のご臨席のもと、組合員、関係者が280名あまり出席し開催された。

越原副理事長の式辞の後、宗廣副理事長に中小企業庁長官表彰、八田・富木両副理事長に中小企業事業団理事長表彰が授与された。又、永年勤続優良従業員の表彰も行われ、37社128名の受彰者を代表して、(株)湯浅惣兵衛本店の小倉捷さんより謝辞が述べられた。

続いて大島中部通商産業局部長、北川中小企業事業団理事、杉本石川県出納長、山出金沢市長、安田石川県中小企業団体中央会会長、中村金沢商工会議所副会頭、光井商団連会長より祝辞をいただき式典を終了した。

引き続き正午からは隣接会場で懇親パーティが和やかな雰囲気の中開かれ、宇野石川県議会議員の音頭による万歳三唱で宴を閉じた。



20年以上勤続優良従業員被表彰者名簿

中山 英一	石 織 株式会社	松本 亮一	北村電機産業株式会社	荒井 孝吾	北日商事株式会社
津田 賢一	"	山田 敏男	"	高田 逸雄	北陸通信工業株式会社
法林 幹雄	"	橋場 功	株式会社 キョー・エイ	松田 利雄	"
池下巳喜雄	"	松岡 真介	"	高久保幸夫	"
金森 弘	"	高田 勉	"	清水 政成	"
中村英太郎	"	野村外茂雄	"	宮村 茂雄	"
竹田 明夫	"	中藤 元	"	表 隆夫	株式会社 堀川商店
谷沢ひろみ	"	寅若 正二	"	宮川 豊	"
倉 光雄	岡 本 株式会社	谷野 正悟	"	中山 昭男	"
平内 正則	小 川 株式会社	高木 建治	"	二永 治男	"
四月朔日和子	"	永岡 金一	"	日御子正一	"
前出 和彦	"	北井 豊子	"	浅野 重男	"
丸山 伸二	"	吉村 義昭	クスノキ株式会社	高島 郁子	"
松栄 隆三	小川商事株式会社	中村 和男	株式会社 コシハラ	西村千鶴子	"
沢田 俊宏	"	前花 勝次	"	坂本 義久	株式会社 マツモト
田川 廣幸	北 島 株式会社	野村 正	"	岡本 輝明	"
西田 時枝	"	吉田 機也	"	北口 静三	"
石野 智子	株式会社 トルハート	長田 公行	サンデン販売株式会社北陸支店	大野木義人	"
山田 寛次	"	高旗 彰	"	中川 辰義	明 希 株式会社
中川 登順	株式会社 丸 昌	大西 信廣	三和通商株式会社	打木 武志	"
藤田 明	"	福野 恵夫	株式会社 タ マ イ	坂井 輝夫	"
川原 郁恵	"	柳田 賢一	株式会社 土谷九兵衛商店	山田 進	"
山崎 明男	丸与商事株式会社	北井 攻	"	木谷 清志	"
野田 輝幸	"	源司 照男	東和工業株式会社	山本 茂久	"
船本外美男	"	高尾外志広	"	表谷 昇	"
杉宮 信夫	"	水口 正己	"	西森 誠一	"
村島外喜雄	"	能口 正吉	富木医療器株式会社	堀 慎一	"
加藤恵美子	山 和 株式会社	和泉 陸夫	ナカダ株式会社	前川 信男	"
山科 清治	"	木村 正雄	"	小倉 捷	株式会社 湯浅惣兵衛本店
赤崎 敏彦	"	片山 力三	"	渡辺 勇典	"
北田 利勝	"	水野 希一	成瀬電気工事株式会社	山下 進	"
油野 省吾	荒木商事株式会社	横山 信義	"	木山 栄一	"
田中 茂	"	紙谷 修	"	池田 道子	"
谷 義明	"	川口 一政	株式会社 橋 爪 商会	北川 一郎	株式会社 丸 菱
塚田 英治	株式会社 櫻村金沢支店	羽柴 政雄	百萬石酒造株式会社金沢支店	小林 博	"
菱川 穂積	"	島 道子	"	中村 正広	"
宮地 泰孝	金沢機工株式会社	齊田 博樹	フィドニー株式会社	角 広明	"
中西 憲次	"	笠間 弘明	"	桑山 清志	"
村井 好子	"	喜多 浩一	"	田中 昭三	須 田 株式会社
茨木 喜幸	川上産業株式会社	小林 忠久	"	齊田 達子	"
吉田 昌喜	"	増川 攻	北日商事株式会社		
八十島卓弥	株式会社 川 助	三上 昭男	"		
山本 勉	北村電機産業株式会社	川本 健盛	"		
細木 稔	"	平野 重孝	"		

第20回 社員園遊会

恒例の社員園遊会は10月3日(土)、会館前道路を歩行者天国にして開催された。

「のみの市販売大会」では組合員商社28社が会館前道路と、大ホール・パルス内に店を構え、好天にも恵まれ多くの人達で賑わった。

又、今回は石川県医師会の検診車による体力測定が行われ、参加者は神妙な面持ちで測定結果を聞いていた。



第25回 商社対抗野球大会

5月7日(木)から19チームが参加して行ってきた第25回商社対抗野球大会は、7月11日(土)午前8時30分よりの決勝戦で北村電機産業(株)Aが(株)ヤギコーポレーションを破り、2年ぶり4回目の優勝を遂げた。

- 優勝 北村電機産業(株)A
- 準優勝 (株)ヤギコーポレーション
- 三位 大 宗 (株)
- ” 北村電機産業(株)Bチーム

- 最優秀選手賞 小島憲一 北村電機産業(株)A
- 敢 闘 賞 中谷一志 (株)ヤギコーポレーション
- 打 撃 賞 七尾利克 北村電機産業(株)A

北村電機産業(株)Aチーム 柳監督の話

「今年は年齢でA・B 2チームに分け、主力選手をBにとられて、戦力的には苦しかったです。優勝したいとは思っていましたが、出来るとは思っていませんでした。厳しい試合の連続で、特に決勝戦は最終回を残して1点差といやなムードでしたが、相手のミスに助けられ何とか勝てました。来年もきつと思います。頑張ります。」



優勝 北村電機産業(株)A

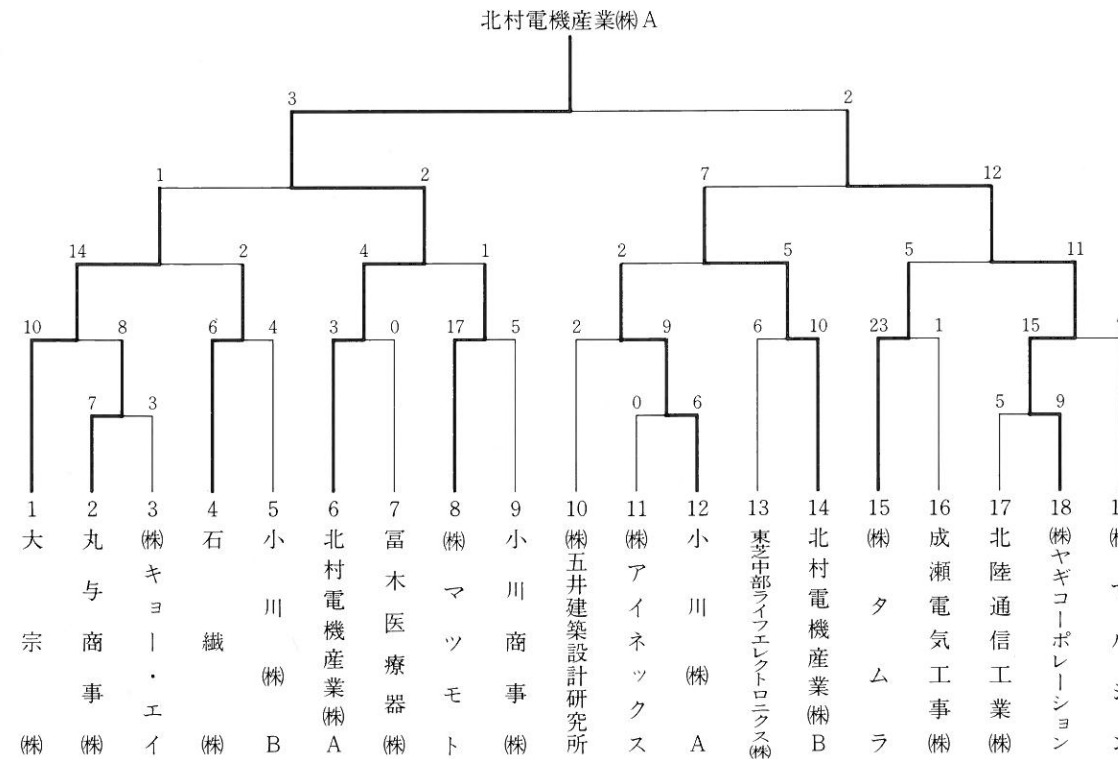


小島憲一選手



準優勝 (株)ヤギコーポレーション

チ ー ム	1	2	3	4	5	6	7	計
ヤ ギ	0	0	0	1	0	1	0	2
北 村 A	2	1	0	0	0	0	X	3



第18回 商社対抗ソフトボール大会

第18回商社対抗ソフトボール大会は、9月27日(日)参加33チームで行われた。

午後4時からの決勝戦では富木医療器(株)が(株)キョー・エイを18対6で下し、初優勝を果たした。

最高殊勲選手賞 野村陽一 富木医療器(株)
敢闘賞 海老忠大 (株)キョー・エイ
打撃賞 山本尚彦 富木医療器(株)

富木医療器(株) 水口主将の話

「10年目の挑戦で初優勝が出来ました。メンバーが若返り、チームに活気が出たおかげです。本当は野球大会での優勝を目指していたのですが、こちらが先になりました。来年こそ野球大会に勝って、優勝旗を2本並べたいですね」



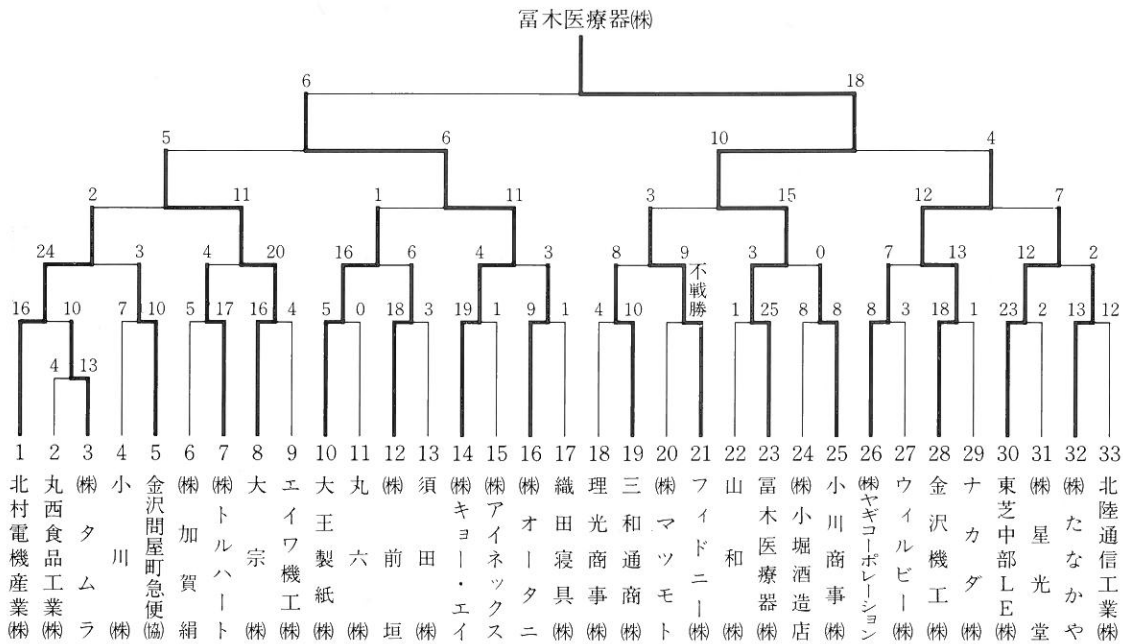
優勝 富木医療器(株)



野村陽一選手



準優勝 (株)キョー・エイ



第5回 ゴルフ大会

11月3日(火)「片山津ゴルフ倶楽部 山代山中ゴルフ場あすなろコース」において、第5回ゴルフ大会が開催された。

今回は18社49名が参加、午前7時第1組がスタートし、腕前を競い合った。



田村厚生委員長より優勝杯を受け取る高桑幸一選手(中)

〔グロスの部〕

順位	選手名	所属	G
優勝	川崎 晃	川崎(株)	81
準優勝	前垣内要介	前垣(株)	84
第3位	大西 憲治	大西(株)	84

〔共通〕

賞名	選手名	所属	G	H	N
ニアピン賞(OUTスタート組)					
	登間佐正樹	タムラ(株)	3番		
	村上辰之石	織田(株)	6番		
	北村正一朗	前垣(株)	14番		
	大西 憲治	大西(株)	17番		
ニアピン賞(INスタート組)					
	中村直彦	キョー・エイ(株)	3番		
	尾山和義	ウィンズ(株)	6番		
	前垣内要介	前垣(株)	14番		
	田村憲司	タムラ(株)	17番		
ドラコン賞(OUTスタート組)					
	玉井伸明	タマイ(株)	2番		
	村端隆美	太洋興業(株)	5番		
	川崎 晃	川崎(株)	10番		
	太田善久	キョー・エイ(株)	18番		
ドラコン賞(INスタート組)					
	中村直彦	キョー・エイ(株)	2番		
	植竹格	ウィンズ(株)	5番		
	川崎 謙介	川崎(株)	10番		
	竹田義昭	丸昌(株)	18番		
ブービー賞	塚田明宏	金沢問屋センター	147	36	111

中日本卸商業団地厚生年金基金設立によせて

中日本卸商業団地厚生年金基金 常務理事 出島 博



皆様には、日頃から社会保険事業の推進につきまして格別のご理解と、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、7月1日付をもちまして中日本卸商業団地厚生

年金基金が、497事業所、11,226名の加入員をもって厚生大臣の設立認可を受けました。設立に当たり大変ご努力をいただきました企業の皆様、関係団体の皆様に深く敬意を表するところであります。

さて、今や我が国は、世界一の長寿国となり、人生80年時代が現実のものとなりました。長い人生を通じ、一人ひとりが生活の中で年金制度と保険医療制度は欠くことのできない極めて重要な役割を担うとともに、期待も大きいものがあります。

急速なスピードで進んでいる高齢化社会をみると現在、総人口に対し65歳以上の人が占める割合は、10パーセントを超えており、21世紀初めには、16パーセント、そしてピークの平成32年には、25パーセントに達すると推定されております。つまり国民の4人に1人が年金を受けているという時代が到来することになります。

このようなことから来たるべき高齢化時代に備え、昭和61年に公的年金制度の大改正が行われ、国民共通の基礎年金が導入されました。そして、現役勤労者の所得とのバランスのとれた年金水準が定められました。

しかし超高齢化時代では公的年金制度のみでは老後の生活安定を支えることはできません。企業年金も老後の経済的土台として、クローズアップされてまいりました。

これまでは、公的年金の補完的役割として考えられていた企業年金がこれからは、公的年金と並んで老後の生活を支える役割を担うものとなりました。

その企業年金の中核をなすのが、厚生年金基金であります。厚生年金基金制度は、厚生年金保険の一部を国に代って基金が代行する部分と、企業独自が年金を上積みしてより手厚い年金給付を終身にわたり給付することとしております。

また、企業においては、労働人口の減少、人材の確保、労働時間の短縮等企業を取りまく環境は近年急速な変化を遂げてまいりました。この様な環境の中で、企業は優秀な人材の確保や、従業員の定着化を図るため企業福利制度に力を入れ、企業年金制度

の導入や、既存の退職金制度の給付改善を図る等、全国的にも活発化がなされております。

厚生年金基金制度が、昭和41年に創設されてすでに、25年が経過しました。その間、設立基準の緩和が行なわれ、本年7月末日では、全国の基金設立は、1,687件、加入員数1,100万人を超え、厚生年金被保険者の3人に1人が基金に加入していることとなります。全国の各企業では経営基盤の安定と雇用促進、福利厚生等から基金加入に積極的に取り組んでいることが伺えます。

当基金も次のことを踏まえ企業のために未加入事業所の加入促進に努めたいと考えております。

1. 厚生年金基金もまさに相互扶助の精神に沿った共同事業であり明日への礎となる制度。
2. 従業員の福祉の充実と、雇用の安定に大きな役割をはたす制度。
3. 国の保険料の一部を基金が代行し、資金運用することにより手厚い年金の給付や、資産の運用収益を活用できる制度。
4. 企業が多く集まることにより年金資金や、運用収益のスケールも大きくなり、掛金でもスケールメリットが生かせる制度。
5. 税法上の優遇措置で退職金の準備もできる制度。

基金スタート1年目、大変厳しい時期に当り基金事務局をお受けすることは、その責務の重さを痛感しており、当基金発展のため、小川理事長の下で職員一同誠心誠意努める所存でございますので、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりましたが、問屋センターの皆様の益々のご発展とご健勝を心からご祈念申し上げます。

中日本卸商業団地厚生年金基金

<所在地>

〒920 石川県金沢市尾山町3番25号
住友生命金沢ビル8階
TEL 0762-61-6171
FAX 0762-61-6177

<事務局>

常務理事	出島	博
事務長	坂本	一
職員	大島	洋美
"	高	富士子
"	米	谷祥子

“ディズニーランド”へ

<完成25周年記念>社員と家族 親睦旅行

団地完成25周年を記念して厚生委員会では、社員とその家族参加による親睦旅行として、JR列車を貸し切り、東京ディズニーランド旅行を実施した。

69社494名が参加し、金沢駅を8月7日(金)の夜8時30分に出発、8日(土)の朝上野駅と東京駅で乗り換え、東京ディズニーランドへ到着、朝8時より夜10時まで各自自由行動を楽しんだ。帰りは台風の影響の為列車が運転できなくなる心配もあったが、JRの協力により予定どおり、9日(日)朝10時に全員事故も無く、無事、金沢駅へ到着した。

車中2泊の強行軍であったが、「疲れよりも、それ以上に楽しかった」と参加者には大変好評であった。

